

災害時 みんなの命と暮らしを守るために



令和3年7月28日、女性と防災の会代表の小國恵子さんを講師に迎え、コムズで学びなおし講座の第三回目を開催しました。
ワークショップを通して、「避難所の騒音・防犯に関する問題」や「トイレ等の衛生面を保つ方法」などについて話し合いました。もしもの時にかにして自分・家族・地域を守るのか、西日本豪雨災害の支援を経験した小國さんから学び、深く考える講座となりました。

講座で使用した資料の一部

避難所でのこと あなたなら どうする？

皆さん、私たちは家族です。一体感が失われるので衛立はいらないうね

和を乱す人は出て行ってもらいます

人目を気にせず横になりたい

意見したいけど...

同じ町内でわがままは言えない

女性60歳 副リーダー

衛立はならない。家族なのだから

災害関連死を防ぐTKB っなに？

資料引用 2018.12.11

TEAM防災ジャパン

【普及啓発】“災害時の避難所には「TKB」”学会が提言 (避難所・避難生活学会)

T トイレ 快適で 十分な数のトイレ
K 食事 温かい食事
B ベッド 簡易ベッド

避難所生活を日常生活に近づける 健康の維持になる

地域の防災力を高める

地域の特性とリスクを知る 風災に取り組む 防災訓練

住民ひとりリーダーが備える 自身の命を守る。ケガをしない生き抜くための知識と備え
水・食料備蓄 トイレ対策 避難行動に関する取り決め要配慮者の把握

地域で備える 避難場所、避難所の環境を整える 避難生活のルール作り 人材発掘、資機材

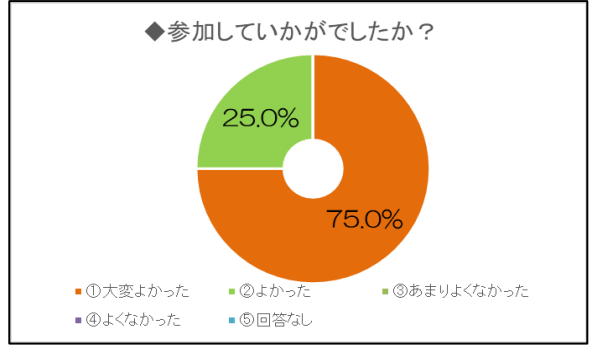
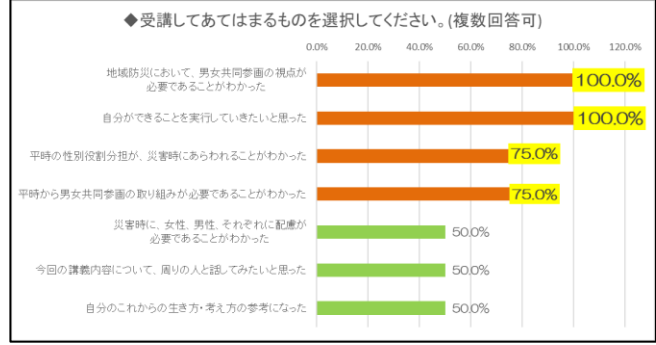
自助+共助

連携する 学校、保育所、介護施設企業、医師 機関、行政等、消防団、児童厚生委員、地域企業、スーパーマーケットほか

犠牲者を出さないことを目指す

※地域で女性リーダーを増やす

アンケート結果と参加者の感想



実際の現場での状況を写真付きで説明してくださったので、とても説得力がありました。私も、災害に備えての「あんしんアルバム」・防災風呂敷の講座を実施しておりますので、その際に参加者の方にお伝えできる内容が増えました。(50代/女性)

過去に起こった大災害について、女性の方が多く犠牲になっているなど知らないことがあり驚きました。3年前の西日本豪雨災害での野村町や吉田町の避難所の様子を聞いて、これからの自分の暮らし方について考えるよい機会になりました。自分も防災士としてもっと頑張らなければと思います。」(60代/女性)

防災ハザードマップについて

松山市では東日本大震災以降、南海トラフ巨大地震の被害想定が公表されたことや、防災に関する法律や制度が改正されたことなどを踏まえ、「まつやま防災マップ」の改訂版を作成し、市内全戸配布しています。右図が講座で紹介されたハザードマップの一部です。いつでもすぐに繰り返し見られるよう、分かりやすい場所に保管しておきましょう。

